

各 位

会 社 名 テクニカル電子株式会社
 代表者の役職名 取締役社長 代表執行役員 早川 義 彰
 (JASDAQ・コード番号：6716)

問 合 せ 先 経 理 部 部 長 八 子 将
 T E L 0 3 - 3 7 6 2 - 5 1 5 2

平成 2 0 年 3 月 期 中 間 期 ・ 通 期 業 績 予 想 の 修 正 に つ い て

平成 2 0 年 3 月 期 (平成 1 9 年 4 月 1 日 ~ 平成 2 0 年 3 月 3 1 日) の業績予想について、平成 1 9 年 5 月 2 5 日 付 当 社 の 「 平 成 1 9 年 3 月 期 決 算 短 信 」 に て 発 表 致 し ま し た 業 績 予 想 を 下 記 の と お り 修 正 致 し ま す 。

1 . 平 成 2 0 年 3 月 期 連 結 業 績 予 想 の 修 正

(1) 当 中 間 期 の 業 績 予 想 (平 成 1 9 年 4 月 1 日 ~ 平 成 2 0 年 9 月 3 0 日) の 修 正

(単 位 : 百 万 円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	4,300	230	170	105
今回修正 (B)	4,156	167	132	85
増減額 (B - A)	144	63	38	190
増 減 率	3.3%	27.4%	22.4%	

(2) 修 正 理 由

電子機器部品事業は、前期から引き続き固定費の削減や生産から販売までの管理体制の再構築、また販売価格交渉等を行った結果、収益力が向上しており、またコネクタなどの電子部品及び、子会社 (EPE 株式会社 及び EPE(Thailand) Co.,LTD.) のプレス部品が前期から引き続き好調であったことから、業績は順調に推移いたしました。一方、駐車場関連事業は、昨年に比較してコインパ - キング市場が冷え込んだことなどから予想に対し売上面で下回って推移いたしました。その結果、グループ全体では、駐車場関連事業の低迷を補えきれず売上高は予想を下回る見込みであり、それに伴い営業利益と経常利益も予想を下回る予定で有ります。また、当社において新会計基準の適用に伴い役員退職慰労金を引当金として 91 百万円を計上したことや、日飛電子精機(株)との合併による棚卸資産の評価減 35 百万円・固定資産売却損 4 百万円等により当期純利益は 85 百万円となる予定です。

(3) 通 期 の 業 績 予 想 (平 成 1 9 年 4 月 1 日 ~ 平 成 2 0 年 3 月 3 1 日) の 修 正

(単 位 : 百 万 円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	9,200	530	430	265
今回修正 (B)	8,000	350	250	30
増減額 (B - A)	1,200	180	180	235
増 減 率	13.0%	34.0%	41.9%	88.7%

(4) 修正理由

駐車場関連事業は、新製品である多機能駐車場管制システム「とめタロ-」を投入致し、拡販効果が第3四半期以後に寄与することや、ローコストの精算機等を投入し売上の拡大と収益性の向上をはかります。また電子機器部品事業は、引き続き固定費の削減やSCMの再構築に努め、業績の回復を図る所存ではありますが、売上高は上半期の下振れ分は補えきれず、また、下半期も引き続きコインパ-キング市場が冷え込むことが見込まれる事から予想を下回る見込みであり、それに伴い経常利益、当期利益も予想を下回る見込みであります。

(5) ご参考：前期の実績

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
中間期	4,174	227	169	105
通期	8,753	561	461	263

2. 平成20年3月期 単独業績予想の修正

(1) 当中間期の業績予想(平成19年4月1日~平成20年9月30日)の修正

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	3,000	120	90	35
今回修正 (B)	2,827	34	0	199
増減額 (B - A)	173	86	90	234
増減率	5.8%	71.7%	100.0%	

(2) 修正理由

電子機器部品事業は、前期から引き続き固定費の削減や生産から販売までの管理体制の再構築、また販売価格交渉等を行った結果、収益力が向上しており、業績は順調に推移いたしました。一方、駐車場関連事業は、昨年と比較してコインパ-キング市場が冷え込んだことなどから予想に対し売上面で下回って推移いたしました。その結果、グループ全体では、駐車場関連事業の低迷を補えきれず売上高は予想を下回る見込みであり、それに伴い営業利益と経常利益も予想を下回る予定であります。また、当期より新会計基準の適用に伴い役員退職慰労金を引当金として91百万円を計上したことや、日飛電子精機(株)との合併による抱合株式消滅差損30百万円・棚卸資産の評価減35百万円等により当期純利益は199百万円となる予定です。

(3) 通期の業績予想 (平成18年4月1日～平成19年3月31日) の修正

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	6,600	310	250	130
今回修正 (B)	5,800	130	100	110
増減額 (B - A)	800	180	150	240
増減率	12.1%	58.1%	60.0%	

(4) 修正理由

駐車場関連事業は、新製品である多機能駐車場管制システム「とめタロ-」を投入致し、拡販効果が第3四半期以後に寄与することや、ローコストの精算機等を投入し売上の拡大と収益性の向上をはかります。また電子機器部品事業は、引き続き固定費の削減やSCMの再構築に努め、業績の回復を図る所存であります。売上高は上半期の下振れ分は補えきれず、また、下半期も引き続きコインパーキング市場が冷え込むことが見込まれる事から予想を下回る見込みであり、それに伴い経常利益、当期利益も予想を下回る見込みであります。

(5) ご参考:前期の実績

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
中間期	2,644	102	83	30
通期	5,544	307	240	120

以上